

第29回 全国街路事業コンクール応募資料

様式1

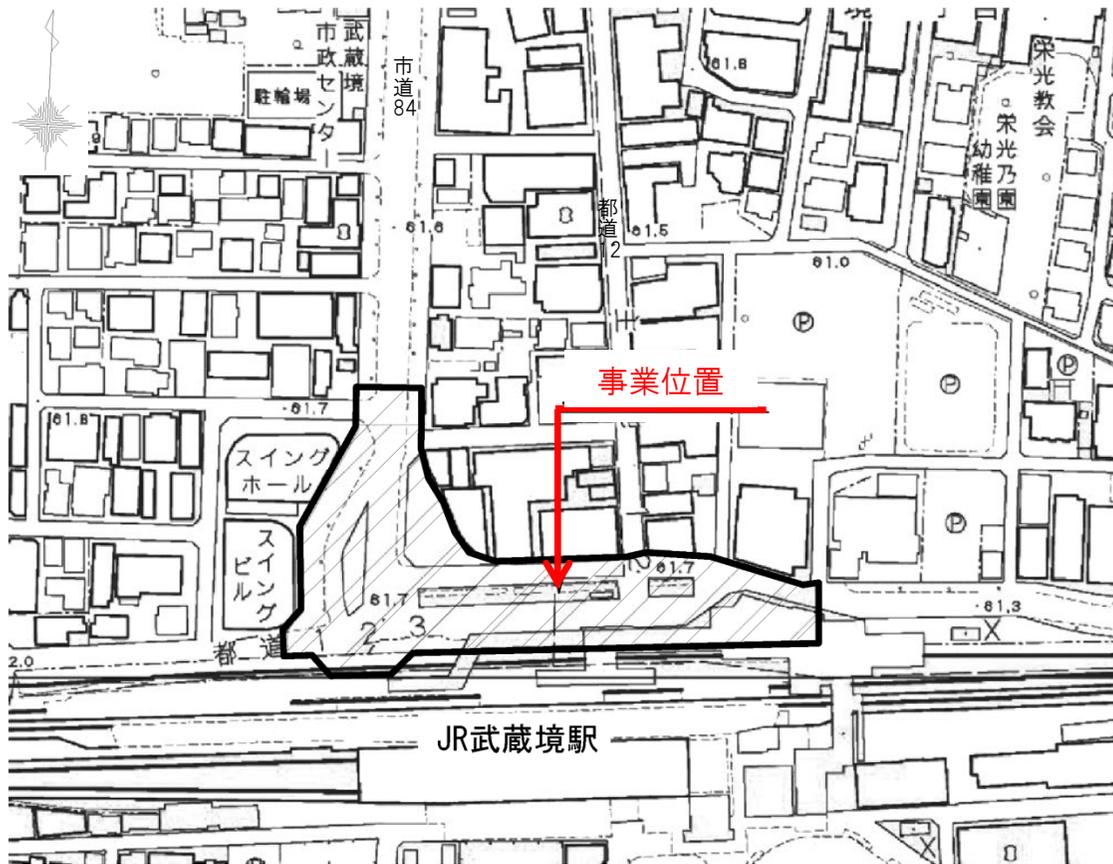
ふりがな 応募者名		むさしのしとしせいびふ 武蔵野市都市整備部
街路事業	ふりがな 事業の名称	むさしのしけいかくどうろじぎょうさんさんにじゅうさんごうむさしさいえききたぐちせん 武蔵野都市計画道路事業3・3・23号武蔵境駅北口線
	ふりがな 事業主体	むさしのし 武蔵野市
	ふりがな 実施都市名	むさしのし 武蔵野市
	事業概要 (400字以内)	
事業規模		<p>○事業延長：160m 駅前広場 6,700㎡</p> <p>○事業費：136億円</p> <p>○幅員：22m(取付部)</p> <p>○事業期間：昭和62年度～平成27年度</p>
事業の目的		武蔵境駅北口駅前広場の整備により、車両と歩行者の輻輳や交通混雑を解消し、安全で快適な歩行者空間を確保して、駅前空間の改善と総合的な都市機能の向上を図る。
事業効果	事業効果項目	・様式2のとおり(該当項目にチェックを付す)
	事業効果の概要	本事業により、駅前の交通混雑の解消と全ての人に優しい交通環境の改善を図ることができた。また、駅前利用者の利便性、回遊性、安全性が向上し、鉄道高架化とあわせて南北一体のまちづくりの実現と賑わい創出を図ることができた。
	定量的効果 (検証済の場合記入)	現在、交通量調査実施中
地元対応等	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民との協働等 ・事業反対等があったか ・合意形成等を図ったか ・地域に配慮した点 ・その他 	<p>・市は、昭和52年に「武蔵境駅周辺地区市街地再開発計画(市案)」を発表し、昭和59年には、「境・北口まちづくり市民委員会」を発足し議論を重ね、昭和61年に武蔵境駅北口都市計画(案)を発表した。当初は、反対運動が起こり膠着状態が続いたが、反対者を含む市民委員会を発足し、議論を重ねた結果、最終的には反対者がゼロとなった。</p> <p>・平成8年に地元の商店街、PTA、青少年問題協議会、周辺の大学等、様々な階層の市民が集まって市民団体、「武蔵境駅舎・広場・まちづくり協議会」を設立した。協議会では武蔵境らしい駅舎や駅前広場について検討を重ね、市へ提案があり、市は武蔵境駅北口広場基本計画に反映した。なお、同協議会は市出先機関(境開発事務所)を事務局として、日常的な活動や定期的なイベント等により行政と連携したまちづくりを進めている。</p>

事業位置図



事業位置

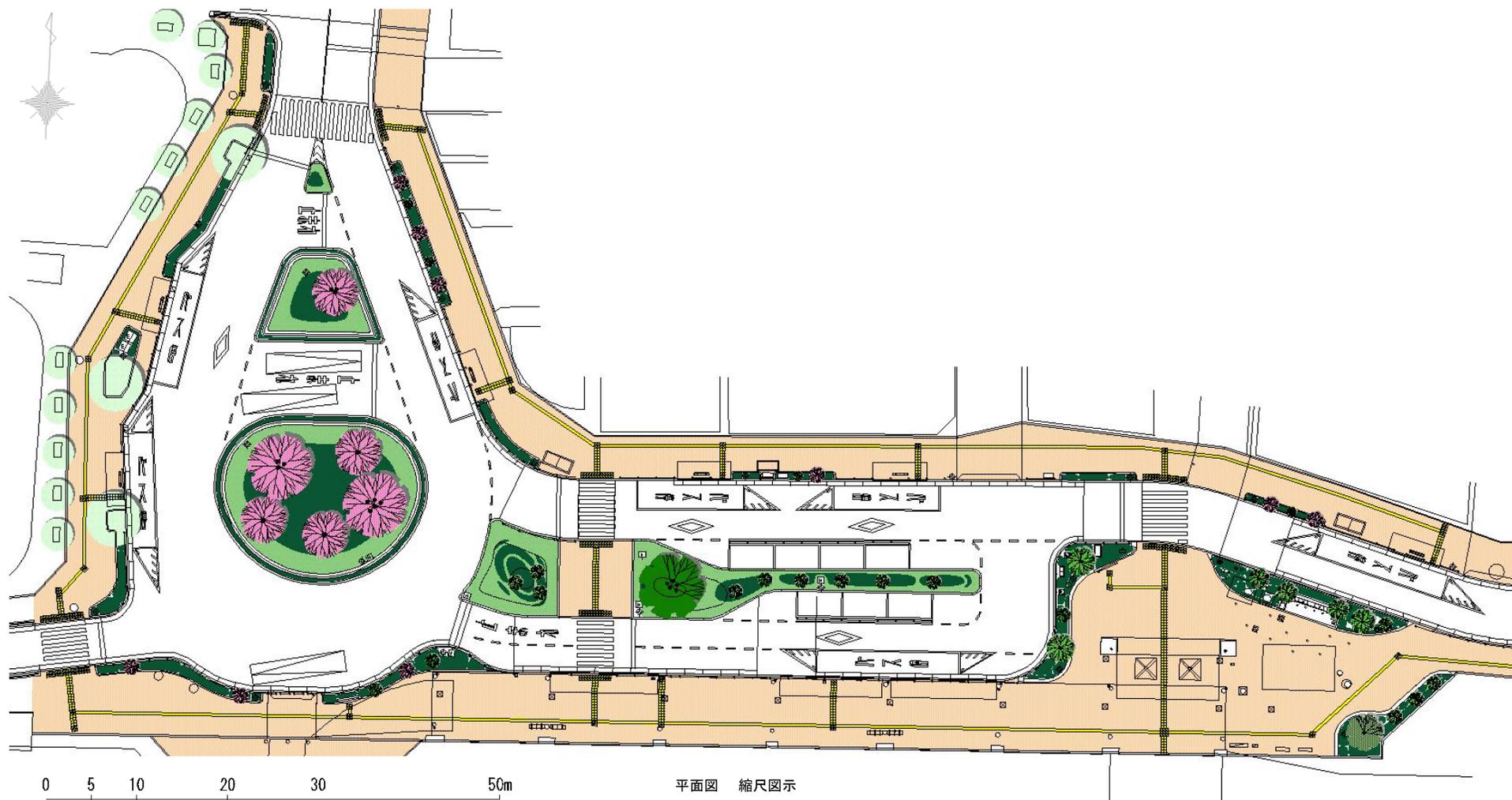
詳細図



事業位置

案内図

全体図(平面図)



事業前写真

平成26年4月撮影



平成26年4月撮影



平成26年4月撮影



事業後写真

平成28年4月撮影



平成28年4月撮影

平成28年4月撮影



武蔵境駅北口広場の整備効果アピール資料

○整備方針

歩行者の安全と公共交通を優先した円滑な交通空間の実現を目指すと共に、周辺のまちづくりと協調し水と緑を活かした、武蔵境らしい駅前空間を創出する。

○整備前の課題

約1,000m程度の暫定的な駅前広場にバス、タクシー、歩行者が錯綜していた。

交通空間

- 駅舎連続施設等の整備
- ロータリー形状の交通島や機能的なバス停等の配置
- 電線類地中化、バリアフリー化（スムーズ横断歩道等）

環境空間

- 小広場の整備等
- 水景施設や周辺の既存の緑と調和した植栽（サクラ等）
- 総合案内板の設置
- 小広場、ソーラー照明、防火水槽の整備

整備効果

交通空間

- 歩行者の視点での安全な歩行空間を確保
- 公共交通を優先した安全で効率的な交通機能を確保
- 全ての人に優しい交通環境の創出

環境空間

- 賑わい・憩いの空間を創出
- 自然環境の調和と周辺の街並みとの協調した景観を創出
- 分かりやすく利用しやすいサービスの提供
- 災害時・緊急時に対応した施設・空間を確保

●交通島（ロータリー形状）

- ロータリー機能と安全で円滑な自動車動線の確保
- かつて玉川上水の花見でにぎわった駅として、歴史ある地域イメージを彷彿とさせる景観を形成

●植栽

- ケヤキ・サクラに彩りを添え季節を感じる花や葉色を植栽

●防火水槽（100+）

- 災害・緊急時に対応した整備

●バリアフリー整備（スムーズ横断歩道等）

- 歩行者に優しい歩行空間の整備

●小広場

- 憩いと交流の場として休憩施設（ウォールベンチ）を配置。
- 災害・緊急時に対応した施設を設置

●電線類の地中化

- 歩行者に優しい歩行空間の整備

●水景施設

- 玉川上水・千川上水、仙川などがある武蔵境らしい緑豊かな水辺をイメージした壁泉

●照明

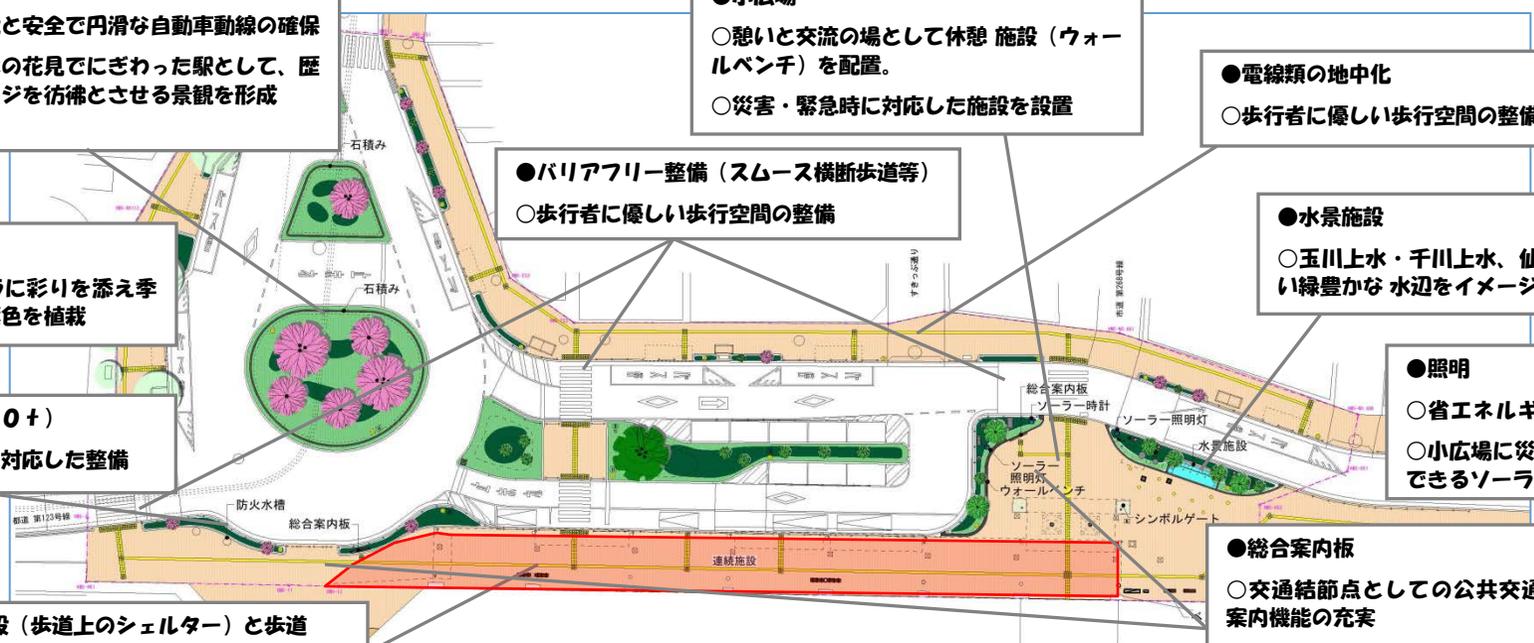
- 省エネルギーを考慮したLEDを導入。
- 小広場に災害・緊急時(停電時)に対応できるソーラー照明を設置

●総合案内板

- 交通結節点としての公共交通の案内機能の充実

●駅舎連続施設（歩道上のシェルター）と歩道

- 雨天時等の歩行者利便性や回遊性を高めた歩道



事業効果一覧表

大項目	中項目	小項目	指 標	該当項目
事業 の 効果	円滑な交通	物流を支える	<ul style="list-style-type: none"> ・整備水準の低い地域の改善に寄与した。 ・道路ネットワークの形成に寄与した。 	○
		渋滞のない交通環境を実現	<ul style="list-style-type: none"> ・交通渋滞の緩和・解消に寄与した。 	◎
		公共交通の利便性向上	<ul style="list-style-type: none"> ・バス、鉄道の利便性向上に寄与した。 	◎
	安心・安全な生活	安全な道路交通の実現	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故の防止に寄与した。 	◎
		誰もが通りやすい歩行空間の実現	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行者・自転車の安全な通行空間の確保に寄与した。 	◎
		災害に強い安全な市街地、集落の形成	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時における安全性の向上と円滑な避難・救援に寄与した。 	◎
	まちづくり・地域活性化	都市（地域）連携を進める	<ul style="list-style-type: none"> ・中心都市へのアクセス向上やまちづくりに寄与した。 	◎
		都心の活力を高める	<ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地の活性化に寄与した。 	◎
		地域経済の振興を支援する	<ul style="list-style-type: none"> ・都市（地域）の経済活動の拡大に寄与した。 	◎
	アメニティの向上	沿道環境の改善	<ul style="list-style-type: none"> ・沿道環境の改善や充実性に寄与した。 	◎
		うるおいのある道路空間の創出	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺の景観に配慮し、良好な道路空間等の創出に寄与した。 	◎
		歴史・文化の保全	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史・文化の保全に配慮し、歴史的景観等の創出に寄与した。 	◎
	事業実施に伴う効果	コスト縮減等	<ul style="list-style-type: none"> ・工費節減に工夫を凝らし、実績を上げた。 ・事業期間の短縮や環境対策などの社会的コスト縮減を図った。 	◎
		事業期間等	<ul style="list-style-type: none"> ・当初の事業期間を短縮し、前倒して供用開始した。 ・短い事業期間で大きな事業効果を発揮した。 	△

※当該事業において、最も事業効果が現れたものから重み付けをしてください。

◎効果大 ○効果中 △効果小

路線全体の進捗状況

【今回応募区間概要】

L=160m, A=6,700m²

H27年度完成



凡例

-  : 今回応募区間
-  : 施工済区間
-  : 既設道路

都市計画図

